

送 辞

厳しかった冬の寒さも少しずつ緩み始め、春のふわりとした温かな気配が感じられる季節となりました。

今日の良き日を迎えられた卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。在校生一同、心よりお祝い申し上げます。

卒業証書を手にした今、さまざまな思い出が皆さんの胸の中を駆け巡っていることと思います。そして私たちの心にも、先輩方とともに過ごした日々が、かけがえのないものとして刻まれております。

特に心に残っているのは部活動です。入部したてで何も分からず、戸惑っている私たちに、優しく声をかけ、技術向上のため一から丁寧に教えてくださいました。また、礼儀の大切さについても学びました。どうしたら楽しく、雰囲気良く部活動ができるか、実際の試合でのプレーの仕方はどうかなどを考えながら活動していた先輩方は、とてもかっこよく、憧れの存在でした。

小高中の一大イベントである群青祭では、先輩方が中心となり、より良い群青祭にしようと、それぞれの係で私たち後輩を引っ張ってくださいました。係の仕事と並行して、何日も前から自分たちの発表についても練習を重ね、ひたむきに取り組んでいらっしゃいました。当日も、忙しい中、舞台裏で私たちに素早く指示を出しながら、自らも率先して動く先輩方の姿から、群青祭に対する熱意が伝わり、とても感動しました。

このように、先輩方から学んだことは、数え切れないほどたくさんあります。中でも大切にしたいことは、明るく前向きに物事に取り組もうという姿勢です。震災後、小高中は生徒数が少なくなり、活動の幅が少しずつ狭まってきています。しかし、これまで引き継いできた伝統を守りつつ、より良く、活発な小高中を築いていこうとしていらっしゃいました。生徒会で行っているあいさつ運動もその一つです。朝のあいさつ運動を通して、教室でも廊下でも、先輩・後輩関係なく元気なあいさつが飛び交っています。生徒数が少なっても、以前と同じくらい、いや、それ以上に明るく活発で素晴らしい学校だと感じさせてくださいました。

先輩方は、これまで経験したことのない新たな道を進まれます。そこには、歩くのが楽し

くなるような輝かしい道もあれば、時に、足取りの重くなるような険しい道もあるかもしれません。くじけそうになったり、歩みが止まってしまいそうになったりしたときには、この小高中で過ごした日々を思い出してください。私たちはこれからも、ここ小高中で、皆さんのことを応援しています。

小高中学校の誇りを胸に卒業される先輩方は、私たちの目指す模範です。これまで先輩方が築いてこられた数多くの良き伝統を受け継ぎながら、一人ひとりが自覚をもち、さらなる発展を目指して、さまざまな活動に挑戦していくことをお約束します。

最後に、卒業生の皆さんへの感謝の気持ちをお伝えするとともに、皆さんのご健康とご活躍を心よりお祈り申し上げ、送辞といたします。

令和2年3月13日

在校生代表